

令和5年11月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 令和5年11月17日（金）午後3時30分～4時30分

2 場 所 教育センター 第1研修室

3 出席者〔教育長〕中島秀行

〔委 員〕吉本理(教育長職務代理者)、寺本彰、宮本陽子、森田理恵、
清水国明

〔事務局〕千葉裕之教育総務部長、中田利明学校教育部長、池田淳教育
総務部次長、糟谷苗美社会教育担当参事兼社会教育課長、吉
川誠学校教育担当参事兼学校教育課長、中村啓教育センター
担当参事兼教育センター所長、鈴木健教育総務課長、北村史
恵教育総務課主幹兼教育企画室長、遠山秀仁教育施設課長、
三上佳明スポーツ振興課長、稲田里織文化財保護課長、川島
一禎文化財保護課主幹、橋本浩志所沢図書館長、鈴木恵学校
教育課主幹兼健やか輝き支援室長、渡辺純也保健給食課長、

〔書 記〕小城原光貴教育総務課副主幹、佐藤彰尚教育総務課主査

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴者 なし

6 開 会 本日の議案は、議案第20号の1件。また、協議事項が
1件。なお、報告事項の一部については予算に関する審議の
ため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第
7項に基づき、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全
員が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

7 議題

●議案第20号 所沢市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令について
資料に則り、吉川学校教育担当参事から説明があった。

質疑なし

※中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

8 協議事項 第4次子どもの読書活動推進計画素案について

資料に則り、橋本所沢図書館長から以下のとおり説明があった。

平成13年12月、国において「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布・施行されたことを受け、所沢市では、平成21年度に「所沢市子どもの読書活動推進計画」を策定し、様々な施策を展開してきました。今年度、現行の第3次計画が最終年度を迎えることから、現在、新たな計画の策定を進めています。

策定にあたっては、国や県の計画を参酌するとともに、市の上位計画である「第6次所沢市総合計画」や「第2次教育振興基本計画」と整合性を図りながら、設置要綱に定められた委員で構成される策定委員会での意見を反映し、策定を進めてきました。なお、計画期間については、今までの期間を継承し、令和6年度～令和10年度の5年間とします。

今回の計画は、国の「第五次子どもの読書活動に関する基本的な計画」における基本的方針に基づき、不読率の低減や多様な子どもたちの読書機会の確保、デジタル社会に対応した読書活動の整備、子どもの視点に立った読書活動の推進について、継続事業以外にも、今後の課題解決に向けた取組を含んだ内容となっています。

今後のスケジュールですが、策定内容の庁内における協議を経て、素案を一般に公開し、12月21日（木）から1月20日（土）までの期間、パブリックコメントを実施する予定です。その結果を踏まえ、2月の教育委員会会議において、議案としてお諮りする予定です。計画の発行は、令和6年3月を予定しています。

以下質疑

（吉本委員）

策定委員会委員名簿について、司書の有資格者が1人しか記載がありませんが、事務局の職員は司書の資格を持っていますか。

（橋本所沢図書館長）

全員ではありませんが、記載名簿のうち4人が有資格者です。

（吉本委員）

司書は本に関するプロであり、それぞれ読み手の趣向に合った本を示すことができる方だと思いますので、当該計画の策定においても司書の有資格者がもっと関与しても良かったと考えます。

(中島教育長)

小学校教諭など、他に司書の有資格者はいますか。

(橋本所沢図書館長)

教諭のうち1人が有資格者です。

(宮本委員)

後半のアンケート調査結果を見ると、今はスマホやインターネットで本を読むことができるようになり、本を買う機会が少なくなっていることなどの影響があると思います。低学年の方が数値が高いことを考えると、より低年齢の時期からの読書を習慣づける必要があると感じており、学校においては学級文庫を充実させるなど読書環境を整える必要があると考えます。また、1週間のうち全く本を読まないという子どももいるようですが、朝読書をしていれば無読率というのはゼロになるのではないかと思いますので、その点についても今後検討していただきたい。

(中島教育長)

朝読書をしていない学校はありますか。

(中田学校教育部長)

令和5年度においては、全校実施しています。ただし、コロナ禍においては実施していなかった期間もあります。

(橋本所沢図書館長)

平成30年度の無読率は目標値の0%を達成しており、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、朝読書を実施できなかった時期があったことは事実ですが、16ページに記載のとおり、朝読書は市内全校で取り組んでいます。今後、少しずつ数値は回復していくのではないかと考えられます。

また、学級文庫については、今回の素案では触れられていませんが、読書習慣を身に付けるために有効だと考えますので、学級文庫の充実について、次回の策定委員会に提言します。

(中島教育長)

朝読書によって強制的に読書をすることで無読率はゼロになりますが、生徒のなかには3年間同じ本を開き、朝読書の時間を過ごすという生徒もおり、それは読書ではなく本を眺めているだけの状態でした。無読率がゼロになることで、本当の意味で読めているのかどうか、という部分が見えなくなってしまう恐れがありますので、質の

部分について学校には理解してもらう必要があると考えます。

(寺本委員)

アンケート調査結果について、質問項目が読書日数と冊数にしか注目していないように思われますが、いかがですか。

(橋本所沢図書館長)

当該アンケートは小学2年生、小学5年生、中学2年生を対象に毎年行っているのですが、例年同様の内容でアンケートを実施しています。

(寺本委員)

子どもたちが読んでいる本の種類や傾向などを調べるべきだと思います。調査結果を見ると、読みたい本がないという項目も高い数値となっていますので、どの分野に興味があるのかなど把握するべきです。また、子どものときから本というものは文学的なものだという印象が根付いてしまうと、文学的なものが苦手な子どもだと、興味を惹くような本があるにも関わらず、本を読まなくなる恐れがあります。その点についてはどのように考えますか。

(橋本所沢図書館長)

今までのアンケートではどうしても数値に注目しがちであったため、今後は子どもたちの好み、傾向などの分析が必要かと思います。来年度以降のアンケートにおいては、ご指摘のように子どもたちの趣向を把握できる内容とするよう検討していきたいと考えています。

(寺本委員)

提案となりますが、学校司書が子どもたちに学校図書館の利用方法を伝える際、並んでいる分野毎にどこにどのような本があるか伝え、図書館でも同様の配置になっているので探してみるように促すなどしても良いと思います。また、1冊全部読むのは難しいと思いますので、飛ばし読みでも良いので数冊借りていっぱい読んでみてというふうに図書館だけでなく学校側でも声掛けをできたら良いと考えます。

(中田学校教育部長)

小学校の国語の授業では、学校図書館の使い方という単元があったり、近隣に図書館がある小学校では実際に図書館に行ったり、図書カードを作成するなどの活動を行っています。また、よりたくさんの本を読むという点では、同じく図書館の使い方の授業の中でこのような本があると伝えることも可能かと思いますが、なかなか図書館

に足が向かない子どもたちに向けて、どう働きかけができるかという課題があるかと考えます。

(寺本委員)

国語の先生に関しては文学的なものを取り上げることが多いと思いますが、説明文で取り上げる先生も多いですか。国語という教科は、書いたり話したりという実技でないといけないと考えます。本を読む上では、キーワードが多くあった方が良いと思いますし、特定の分野の読書率が下がっているのであれば、その分野を読みましようというキャンペーンのようなものを実施したら良いのではないのでしょうか。

(中島教育長)

システムが導入されれば誰がどの本を借りたのか、アンケートを実施せずとも集計可能となるはずです。また、アンケートが目的ではなく、子どもたちへの指導として行動に移させるにはどうしたらよいかを考えるべきだと思います。

(清水委員)

いきなり学校の朝読書から入るのではなく、小さい頃からの読み聞かせが重要だと考えます。家庭で本に触れる機会と同様に、学校でも興味のある本が置いてあり、自分にとって思い出の一冊に出会えるような環境づくりが必要だと思います。

(森田委員)

「ところっこ親子ふれあい絵本事業」について詳しく教えてください。

(橋本所沢図書館長)

令和2年度より、こども支援課、健康づくり支援課、所沢図書館の連携で開始した事業です。当初は、4か月児健康診査が対象でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、4か月児健康診査が集団検診から医療機関での個別健診に移行したため、対象が1歳6か月児健康診査へ変更となりました。健康診査時に、ボランティアによる絵本の読み聞かせを行い、その際に絵本の引換チケットを配布し、図書館以外にも、児童館や保育園等の子育て支援施設で交換ができます。

(森田委員)

利用実績はどのようになっていますか。

(橋本所沢図書館長)

令和4年度実績ですが、チケット配布数が1,977枚で絵本交換数は765冊となっています。

(中島教育長)

交換数としては少ないのではないですか。

(橋本所沢図書館長)

事業実施当初と比較しますと、冊数は増えていますが、いかに交換率を上げるという課題はあります。配布数を増やすために、健診時に絵本を配布したらどうかという意見もありますが、親子で市の子育て支援施設に足を運んでもらい、施設の存在を知って利用につなげるPRも狙いとしているため、その場では配布していません。

(中島教育長)

親が交換に来ないと絵本をもらえないので、子どもたちに読書の機会を与えるということを目的として考えるのであれば、施設の利用もという2つの目的に執着せずに、その場で配布すれば、どのような子も本を読むことができるのではないかと考えます。

(橋本所沢図書館長)

どちらの目的を優先すべきか、すぐに結論を出せるものではありませんが、絵本が子どもの手元に届くことが一番望ましいことだと思いますので、今後、協議した上で結論を出していきたいと考えています。

(吉本委員)

本を普及させたいのであれば、今までと同じ方法ではなく読んでもらうための手法を考えなければならないと思います。今回の推進計画についても、他市と同じようなものではなく、大胆に発想を変えて所沢市独自のものを考えてみたら良いのではないかと思います。

(中島教育長)

ただいまの協議事項について、各委員の意見等を踏まえた対応をお願いします。

9 報告事項

○所沢市教育委員会後援等名義使用許可について（教育総務課）

○所沢市教育委員会の11月から2月までの主な行事予定について（教育総務課）

○令和5年度「第77回所沢市二十歳のつどい」市の代表者について（社会教育課）

○三ヶ島葎子資料室開設三十周年記念事業について（文化財保護課）

○「所沢市立所沢第二幼稚園廃止に伴う所沢市立学校設置条例の一部改正（案）」に対する「ご意見と市の考え方」について（学校教育課）

以下質疑

(寺本委員)

三ヶ島菫子・新百首選についてですが、選んだ後はどのような形で発表されるのですか。

(稲田文化財保護課長)

令和の百首として、まずは所沢市ホームページで発表をするとともに、印刷物も作成する予定です。

(寺本委員)

先日、三ヶ島菫子に関する講演に参加した際、講師の方が博識であり、執念で三ヶ島菫子を知り尽くしているような説明が素晴らしいと感じましたので、百首すべてにコメントをお願いしたいと思います。

(稲田文化財保護課長)

平成6年3月発刊書籍に掲載の「三ヶ島菫子百首選」について、資料室開設10周年記念で発刊した書籍で鑑賞を行った経緯もありますので、ご意見を踏まえて、検討します。

(宮本委員)

所沢市立所沢第二幼稚園廃止に伴う所沢市立学校設置条例に関する一部改正(案)のパブリックコメントについて、跡地利用を地域の方々と検討している中で、不登校や悩みを抱えている子ども達の受け皿になるような施設を希望します。ただ単に廃園となった施設を利用するのではなく、所沢市の子育ての事業に派生していくような種まきができる施設になって欲しいと考えます。

○所沢市学校給食センター再整備事業契約締結についての一部変更について

(保健給食課) 【非公開】

○令和5年度3学期学校給食費無償化について(保健給食課) 【非公開】

質疑なし

10 その他

今後の日程

・教育委員会会議12月定例会：12月26日(火)

・教育委員会会議 1 月定例会：1 月 2 6 日（金）

1 1 閉 会 午後 4 時 3 0 分